

今日の力

カリフォルニア州 パリセーズ

10月4日(火)

赦すことが始まり

聖書朗読 マルコ 1:1～8

バプテスマのヨハネが荒野に現れて、罪の赦しのための悔い改めのバプテスマを
宣べ伝えた。 マルコ 1:4

『神の子イエス・キリストの福音のはじめ。』 この聖句からマルコの福音書は
始まります。福音書はイエス様に関する素晴らしい知らせを伝えています。

イエス様が福音を宣べ伝える前にヨハネが準備をしました。罪が赦されること
を宣べ伝えました。イエス様に関する素晴らしい知らせを含め、「私たちの罪が赦さ
れることが良い知らせの始まりでした。

なんと素晴らしい知らせでしょうか！ 私たちは皆、罪人で、間違っただけを
したことがあり、褒められない行動を取ったことがあります。しかし、イエス様の
存在により、それらは赦されるのです。なんと良い、素晴らしい、エキサイティン
グな知らせでしょうか。

赦しが全ての良い知らせの始まりかもしれません。もし私たちの罪が赦されな
ければ、永遠に続く罰に絶望的になっていたかもしれません。イエス様によって、
罪が赦されるだけではなく、神の子である恩恵を受けられるのです。

もし、私たちが、神が赦して下さるのを良い知らせだと思うのなら、私たちは
その知らせを他の人々を赦すことにより人々に示せるのではないのでしょうか。

讃美歌 262

祈り 親愛なる父よ。私たちの罪が赦される良き知らせを与えて下さりありが
とうございます。あなたが私たちを赦して下さいように、私たちも人々
を赦せますように。

イエス様の御名を通してお祈りいたします。アーメン。

ナンシー・ファーガソン
テキサス州 アビリーン

10月5日(水)

神様を喜ばせる

聖書朗読 マルコ 1:35～39

さて、イエスは、朝早くまだ暗いうちに起きて、寂しい所へ出て行き。そこで祈
っておられた。 マルコ 1:35

悪霊を追い出す出来事の記事と、ツァラアトに冒された人を癒す出来事の記事
の間に、マルコはイエス様の人生の大切な一コマを伝えました。イエス様は寂しい
場所で神と共に時間を過ごされました。群衆はイエス様を探しました。シモンは早
く伝道をするようにイエス様にプレッシャーを掛けました。しかしイエス様は次の
町へ行き、説教すると言われました。イエス様の日々の行動はイエス様の生涯の目
的を反映したものであったのです。シモンの期待は神の期待とは合わなかったのです。

私も日々の生活の中で、周りの人々からのプレッシャーを感じるすることがありま
す。もし、彼らの期待に応えようとするなら、彼らを喜ばせることになるでしょう
が、果たして神も同じようにお喜びでしょうか？ 人々の期待に応えることより、
私の人生に対する神の目的を知るべきです。

イエス様は人々を喜ばせることと神を喜ばせることの違いをご存知でした。ど
のようにして知ることが出来たのでしょうか？ イエス様はお一人で神との時間を
持たれました。そのことにより、強さを受取り、導きを得て、日々の目的も認識さ
れていたのです。イエス様のように、私たちも神との時間を設け、日々御心に耳を
傾け、導きを受取るべきです。

讃美歌 295

祈り 父よ。あなたとの時間を設けるたびに日々の目的と導きを受けて下さい。
知恵と判断力を与えて下さい。

イエス様の御名を通してお祈りいたします。アーメン。

サリー・シャンク
ウエストバージニア州 パーカスバーク

10月6日(木)

笑 っ て , 泣 い て

聖書朗読 マルコ 2:18～22

天の下では、何事にも定まった時期があり、すべての営みには時がある。泣くのに時があり、ほほえむのに時がある。 伝道者の書 3:1, 4a

ヨハネとパリサイ人の弟子たちが断食しているのに、どうしてイエスの弟子たちが、断食しないのか聞いた人々にイエス様は答えられました。花婿(すなわち主)が婚礼の客ら(すなわち弟子たち)と一緒に居る間は、断食できないでしょう、と。イエス様が弟子たちから離れれば、弟子たちは悲しみます。弟子たちと一緒におられた時、イエス様は神様からの新しいメッセージを伝えられました。この新しいメッセージを伝えた後、イエス様は離れられ、皆、主との再会を待ち望みました。

人生における大切なレッスンはこれです。伝道者の書のソロモンのように、イエス様は人生において様々な感情を覚えるときがあるとお教えになりました。人生は楽しいことしかないと思っているならば、それはずっとは続かないかもしれません。人生には楽しい時、悲しむ時、成功、そして失敗があるのです。私たちは勝つ時もあるし、負ける時もあります。病気の時もあるし、死が訪れる時もあります。その一方、赤ちゃんが生まれ、家族が増えることを喜ぶ時もあります。人生には幸せと悲しみがあるのです。

しかし、私たちは天国には喜びしかないと知っています。希望があります。この希望を強い励ましにしましょう。悲しみの時代を生き抜いたイエス様に天国でお会いし、永遠に喜びを分かち合うことが出来るのです。

聖 歌 634

祈 り 主よ。あなたに希望を覚えます。御国が来るのを待ちます。あなたの憐みのゆえに休むことが出来ます。あなたの傷だらけの御足の御許で泣き、あなたに従います。

イエス様の御名を通してお祈りいたします。アーメン。

スタッフフォード・ノース
オクラホマ州 エドモント

10月7日(金)

情 け 深 い 神 様

聖書朗読 マルコ 2:23～28

主は情け深く、正しい。まことに、私たちの神はあわれみ深い。 詩篇 116:5

罪深い言葉を口にしたことはありませんか？ または何か厳しいことを言ってしまうって、フォローしなかったことはありませんか？ 神の教えを知っているのに、愛のない行いをしてしまったことはありませんか？

私たちの言動は、その背後にある私たちの意図に基づいて評価されます。パリサイ人はイエス様と弟子たちをコントロールしようとしました。またパリサイ人の安息日についての考え方を押し付けようとしました。しかし彼らの考え方は神の考え方とは違うものでした。

モーセを通して与えられた律法は神様のご性質を反映する憐れみ深いものでした。人々が祝福されるために与えられたものでした。祭司アヒメレクを訪れたダビデに、祭司は聖別されたパンを与えましたが、これは祭司が憐れみ深くダビデに接したからです(Ⅰサムエル 21:1～6)。神からの権威を頂いていたので、祭司がダビデにパンを分け与えても、罰されることはありませんでした。『文字は殺し、御霊は生かすからです。』(Ⅱコリント 3:6)の意味を理解していたからです。

神を誉め称え、似たものとなれるよう努力しましょう(詩篇 103:1～5, 145:8～9)。

讃美歌 121

祈 り 神よ。御心に従い生き、あなたのように考え、話せるよう助けて下さい。イエス様の御名を通してお祈りいたします。アーメン。

デイブ・シュルツ
カリフォルニア州 ベンチャーラ

10月8日(土)

大切な家族

聖書朗読 マルコ 3:31～34

すると、王は彼らに答えて言います。『まことに、あなたがたに告げます。あなたがたが、これらのわたしの兄弟たち、しかも最も小さい者たちのひとりにしたのは、わたしにしたのです。』
マタイ 25:40

家族と言う言葉は、どの言語でも素敵な意味を持っています。その言葉が意味するのは、守ってくれること、癒し、暖かさ、休息、そして愛です。イエス様は『ご覧なさい。わたしの母、わたしの兄弟たちです。神のみこころを行う人はだれでも、わたしの兄弟、姉妹、また母なのです。』(マルコ 3:34～35) と言われました。

神は教会をシンプルですが、素晴らしいものにデザインされました。キリストにあっては、個人の信徒であろうと、家族単位であろうと、皆、神の家族なのです。教会の家族の中では、病気などの理由で思うように礼拝に参加出来ない人々も居るかもしれません。その様な人々にとっては、1日はとても長く、孤独を感じているかもしれません。私たちは自分自身に何が出来るか、考えるべきではないでしょうか？ 自分がその立場だったら何をして欲しいだろうか？ 電話を掛ける、カードを送る、サプライズのプレゼント、訪ねて行って、ちょっとドライブへ行くのも良いかもしれません。これらのことを行動に移すのは簡単であると共に、言い逃れしてやらないのも簡単です。

親切・真心がこもった人生こそ

いつの時代でも変わらぬ価値を持つ

神が私のそばに居て下さるから

私も日々、隣人に手を差し伸べます

—— ウィリアム・ゴールドマン

讃美歌 第二編 26

祈り 天におられます父よ。励ましを必要としている兄弟姉妹に気が付き、元気づけられるよう助けて下さい。

イエス様の御名を通してお祈りいたします。アーメン。

ボブ・ブランド

コロラド州 ベルビュー

10月9日(日)

勇気を持つ

聖書朗読 マルコ 6:45～56

というのは、みなイエスを見ておびえてしまったからである。しかし、イエスはすぐに彼らに話しかけ、「しっかりしなさい。わたしだ。恐れることはない」と言われた。そして舟に乗り込まれると、風がやんだ。彼らの心中の驚きは非常なものであった。というのは、彼らはまだパンのことから悟るところがなく、その心は堅く閉じていたからである。
マルコ 6:50～52

姿を見られたいと特に思っていた訳ではないのに、なぜイエス様は湖の上を歩かれたのでしょうか？ 逆風の中、船の操縦に困っていた弟子たちに心を痛めたからでしょうか？ 様子を見に行くことを諦められなかったのでしょうか？ 弟子たちがイエス様に気が付いた時、弟子たちが動揺していたことをイエス様は恥ずかしいと思われましたか？ そんなことはありません。まず、イエス様は弟子たちを安心させました。弟子たちは恐れる必要はなかったのです。『しっかりしなさい。わたしだ。恐れることはない。』(マルコ 6:50) と言われています。

そして、イエス様は弟子たちと同じボートに乗られました。思い描いてみて下さい。イエス様の服は水を含み重くなっていました。弟子たちは手を差し伸べ、ボートに上がるのを手伝いました。ボートにイエス様が乗られるようスペースを作りました。すると、風が収まったのです。弟子たちはとても驚きました。

実際に目にしたことがないことを信じるのは難しいことです。

パンの奇跡や、この嵐が収まった奇跡です。イエス様は何でもお出来になる方なのです。

そのお力は今でも変わらないのです。私たちの心は鈍感で、そのお力の凄さを忘れがちです。しかしイエス様は今日も私たちを愛して下さいます。そして、共に居て下さっているのです。

讃美歌 298

祈り 親愛なる神よ。いつもイエス様が共に居て下さることを覚えられるよう助けて下さい。あなたの存在を忘れてしまう時があることをお赦し下さい。あなたの存在と、絶えることなく与えて下さる愛に感謝します。

イエス様の御名を通してお祈りいたします。アーメン。

ベッキ・シュバーツ

ドイツ ミュンヘン